

今日からあなたも三味線通

# 三味線

しやみせんざんまい

# in 堺

大陸から琉球へ、そして堺へと

たどり着き成立した

## 三味線

2023  
**1.15** (日)

14:00開演 (13:30開場)

16:30終演予定 (途中休憩あり)

### 堺市立東文化会館 メインホール

(南海高野線「北野田」駅 西出口からデッキ直結 徒歩2分)

その後、全国津々浦々に広がり  
各地の伝統芸能を支え続けてきました  
——まさに「ものほじまりなんでも堺」  
あらゆる三線・三味線が  
この堺で一堂に会するフェスティバル  
〈三味線三昧！〉に、こうご期待！

入場料 [全席自由/前売・当日共] 大人 2,000円 / 子ども (高校生以下) 1,000円 発売日 11月12日(土)

チケット予約

※未就学児入場不可 ※前売券が完売の場合は当日券なし

【窓口販売】フェニーチェ堺、堺市立東文化会館、堺市立梅文化会館、堺市立美原文化会館

【電話予約】堺市文化振興財団チケットセンター TEL 0570-08-0089 (電話予約専用)

【WEB】<https://www.sakai-bunshin.com/> [堺市文化振興財団](#) 検索

【プレイガイド】ローソンチケット (Lコード 53116)

公演情報  
チケット予約はこちら



主催・お問合せ: 公益財団法人堺市文化振興財団 TEL 072-228-0880 (平日9:00~17:30) 制作協力: 古典空間 助成: 一般財団法人地域創造 後援: 堺市、堺市教育委員会

●新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた「感染対策」を実施しております。 ●本公演は、自由都市堺文化芸術まちづくり条例第10条「文化芸術に親しむことができる環境の整備」および第2期堺文化芸術推進計画の重点的施策1-2「すべての人が文化芸術を享受できる機会の充実」に基づき実施しています。 ●本公演は、地域文化に根付いた「三味線の歴史」をたどる公立文化施設3館連携事業です。 2022年12月 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)、沖縄県宜野座村がらまんホール

# 三味線三昧!



琉球→堺→阿波・江戸・津軽…脈々と受け継がれ、各地で根付いた三線・三味線が、わがまち堺に大集合

「三線」「長唄三味線」「義太夫三味線」「津軽三味線」が一堂に会する、またとないコンサート

心躍る演奏あり、納得の解説あり、間近に見られる展示あり  
三味線流入の地〈堺〉だからこそ必見・必聴の三味線フェスティバル

## 義太夫三味線

Gidayū-shamisen

大坂・阿波・淡路を中心に各地に根付いた人形浄瑠璃を支える太棹の三味線。語り手の太夫と共に物語を伝える役割の三味線。力強い低音から哀愁に満ちた音色まで幅広い表現が持ち味。

【出演】鶴澤津賀榮、鶴澤賀寿/竹本越若(浄瑠璃)



## 津軽三味線

Tsugaru-shamisen

津軽地方に伝わり、明治初期に成立したと言われる三味線。本来は民謡の伴奏に用いられたが、近年は唄を伴わない三味線だけの即興演奏による若い演奏家の活躍が目玉を集めている。

【出演】あんみ通(安仲由佳、金田一公美)



## 長唄三味線

Nagauta-shamisen

江戸に伝わり、歌舞伎と共に伝承されてきた長唄を支える細棹の三味線。舞踊の伴奏、情景描写や心理描写など効果音・BGMを担当し芝居を彩っている。軽快で華やかな音色が特徴。

【出演】芳村伊十治郎、今藤龍市郎/杵屋正一郎(唄)



司会  
鳥羽屋里夕

いざ開幕!

## 三線

Sanshin

14世紀末に中国から琉球に伝わった「三弦」が「三線」となり、宮廷音楽として組踊や舞踊、そして民謡、ポップスほか様々な音楽シーンで活躍する沖縄の文化を象徴する楽器。三味線の源流。

【出演】山内真貴子、下地彩香/永山玲裕奈(琉球舞踊)



琉球

